

エコアクション21
環境経営レポート
令和6年度版



レポートの対象期間 : 令和6年1月1日～令和6年12月31日
発行日 : 令和7年3月3日

太陽緑化建設株式会社

1. 環境経営方針

(1) 基本理念

当社は、緑の創出、保全を通じて持続可能な地球環境の保全が人類共通の課題であるとして潤いのある街づくり、事業活動に伴う環境負荷の低減に取り組みます。

(2) 行動指針

- ①事業活動による環境への影響を把握して環境保全活動の継続的な改善を行います。
- ②環境保全に関する法規制を順守するとともに、自社の基準を設けて環境負荷の管理を行います。
- ③造園工事で使用する車のガソリン、軽油、電力から発生する二酸化炭素排出量を低減します。
- ④造園の樹木、芝生等の維持管理で使用する薬剤の管理強化をします。
- ⑤この方針を従業員に周知するとともに社外に公開します。

制定：平成17年4月1日

改定：平成25年10月10日

太陽緑化建設株式会社

代表取締役 河合 伸介

2. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

太陽緑化建設株式会社
代表取締役 河合 伸介

(2) 所在地

〒920-1145 石川県金沢市浅川町イ123番地

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 総務部 課長 荒井 透
連絡先 TEL 076-229-1573 FAX 076-229-1708
E-mail trkk@p2222.nsk.ne.jp

(4) 事業の内容(認証登録範囲)

造園工事業 公園庭園管理

(5) 事業の規模

創業 昭和49年
年間総売上高 122百万円/年 (令和6年度)
従業員数 12人
事務所延べ床面積 292.79㎡

(6) その他

環境経営レポートの対象期間
令和6年1月1日～令和6年12月31日
(当社の5年決算年度)

環境経営レポートの発行日
令和7年3月3日

(7) 対象範囲

全組織 太陽緑化建設株式会社
全活動 造園工事業 公園庭園管理

(8) 車両、機械

①車両

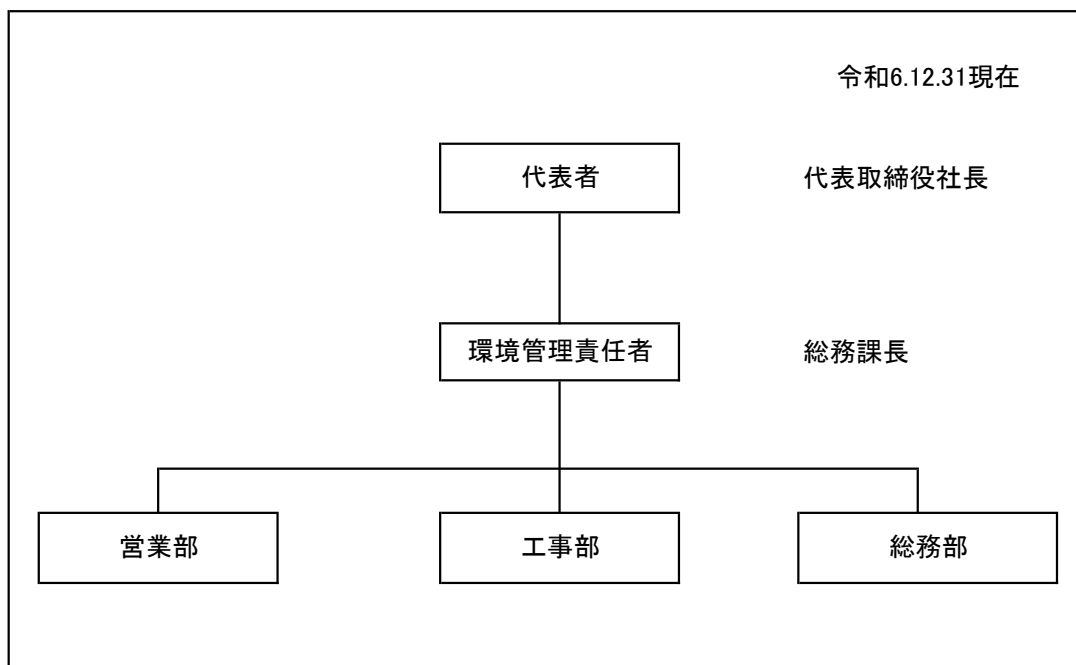
軽四 貨物	4台
軽四 乗用	1台
ダンプトラック	2台
4tトラック	1台

②機械

ミニタイヤショベル	1台
ミニバックホー	1台

3. 太陽緑化建設㈱のエコアクション21

実施体制表



[責任者の役割]

責任者	役割
代表者	環境経営方針を作成する
	環境管理責任者を任命する
	エコアクション21取り組みの資源を準備する
	全体の取り組み状況の評価及び見直し指示をする
環境管理責任者	エコアクション21のシステムを構築し、運用する
	環境経営目標を計画し、進捗状況を管理して代表者に報告する
	環境関連法規の順守状況を把握する

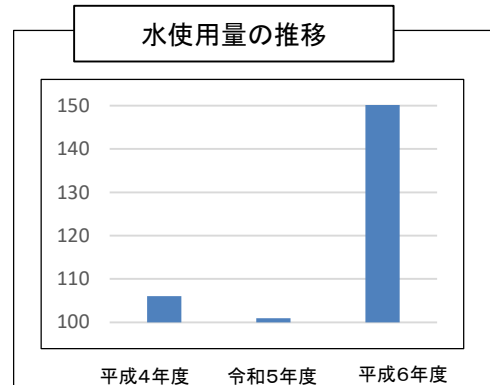
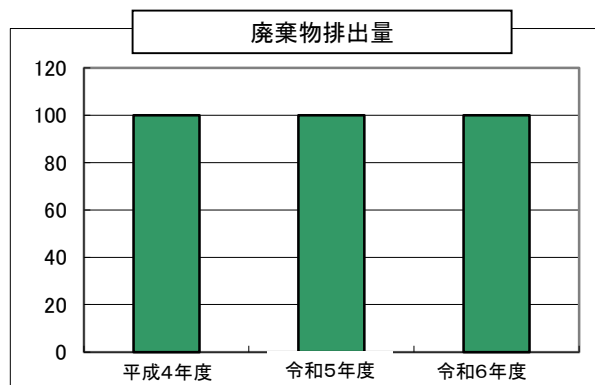
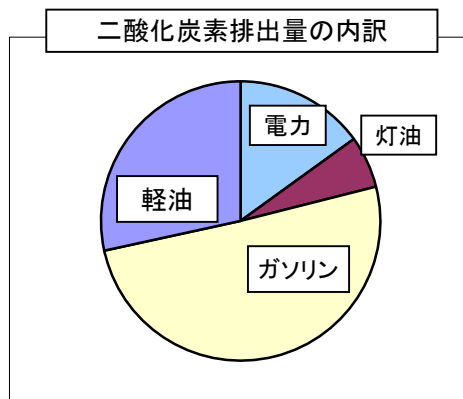
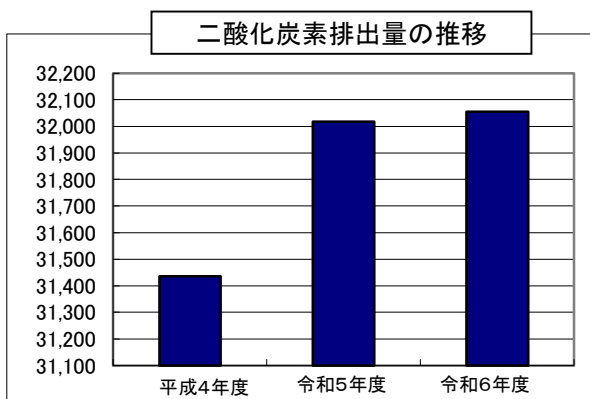
4. 環境経営目標とその実績

(過去3年間の実績)

	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	31,436	32,018	32,055
電力	kg-CO ₂	5,772	5,858	15% 4,800
灯油	kg-CO ₂	1,299	1,523	6% 1,927
ガソリン	kg-CO ₂	15,824	16,182	51% 16,163
軽油	kg-CO ₂	8,472	8,382	28% 9,081
売上高原単位	kg-CO ₂ /百万円	213	247	262
廃棄物排出量	t	99	100	95
リサイクル率	%	100	100	100
コピー用紙	kg	202	141	186
水使用量の削減	m ³	106	101	167
化学物質の管理強化 (消毒液、農薬等)	—	管理強化に努めた	管理強化に努めた	管理強化に努めた

※購入電力の二酸化炭素排出量は北陸電力の令和4年度調整後排出係数 0.499kg-CO₂/kwhを使用。

- ① 二酸化炭素は重機・車両等で使用する軽油とガソリンによる化石燃料が79%を占めている。
- ② 庭、公園等の維持管理作業で発生する草、剪定枝は処分先で破碎処理し、リサイクルしている。
- ③ 庭工事で発生するコンクリートガラ等は処分先で破碎処理しリサイクルしている。
- ④ 水は車両の洗浄や生活用水で使用するものが大半である。水道管破損により漏水が発生し修繕した。



(令和7年度からの3年間の目標)

	単位	令和6年度 実績	令和7年度 目標	令和8年度 目標	令和9年度 目標
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	32,055	31,734	31,417	31,103
購入電力	kg-CO ₂	4,800	4,752	4,704	4,657
灯油	kg-CO ₂	1,927	1,908	1,889	1,870
ガソリン	kg-CO ₂	16,163	16,001	15,841	15,683
軽油	kg-CO ₂	9,081	8,990	8,900	8,811
売上高原単位	kg-CO ₂ /百万円	262	259	257	254
廃棄物排出量	t	95	—	—	—
リサイクル率	%	100	100	100	100
コピー用紙	kg	186	184	182	180
水使用量の削減	m ³	167	165	164	162
化学物質の管理強化 (消毒液、農薬等)	—	管理強化に努めた	管理強化に努める	管理強化に努める	管理強化に努める

① 二酸化炭素排出量は総量、売上高原単位とも令和6年度の実績を基準に毎年1%削減します。

② 一般廃棄物の排出量は工事の内容、量により変動するため、産業廃棄物は削減が難しいため目標値は設定しません。

なお、廃棄物の排出においては適正な管理を行い、廃棄物の削減、リサイクルの推進に努めます。

③ リサイクル率は100%を維持します。

④ コピー紙、水使用量は令和6年度の実績を基準に毎年1%削減します。

(令和6年度の目標、実績、評価)

	単位	令和6年度 目標	令和6年度 実績	達成率 実績／目標	評価
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	31,698	32,055	1.01	○
購入電力	kg-CO ₂	5,799	4,800	0.83	○
灯油	kg-CO ₂	1,508	1,927	1.28	×
ガソリン	kg-CO ₂	16,020	16,163	1.01	○
軽油	kg-CO ₂	8,298	9,081	1.09	△
売上高原単位	kg-CO ₂ /百万円	245	262	1.07	△
廃棄物排出量	t		95		
リサイクル率	%	100	100	1.00	○
コピー用紙	kg	140	186	1.33	×
水使用量の削減	m ³	100	167	1.67	×
化学物質の管理強化 (消毒液、農薬等)	—	管理強化に努める	管理強化に努めた	—	○

評価の基準:3%以内 ○ 4~9% △ 10%以上 ×

①二酸化炭素排出量は工事件数の増加や工事現場等の影響により前年度より増加し、売上高原単位でも悪化した。

②庭工事で発生する木くず等廃棄物は、すべてリサイクルした。

③コピー紙、水は目標達成出来なかった。

なお、水使用量は水道管破損による漏水で大幅に増加した。

④化学物質(農薬)の施錠管理、集計管理は実施できた。

5. 令和6年度の主要な環境経営計画の内容

①二酸化炭素排出量の削減

- ・冬は室温22度前後とし、ストーブで使う灯油も極力節約する。
(担当部署 総務部)
- ・夏は室温を28度前後としクーラー等の消費電力を極力節約する。
(担当部署 総務部)
- ・電灯は消費電力の少ないものに取替え必要のない時はこまめに消す。
特に昼休みは、消灯し、パソコンの電源も消す。
(担当部署 総務部)
- ・OA機器のスイッチをこまめに消し、コピー機は常に余熱にする。
(担当部署 総務部)
- ・温水器の温度を上げすぎない。お湯を出す時間をなるべく短くする。
(担当部署 総務部)
- ・車はアイドリングせず急発進、急加速をせず、スピードを出しすぎない。
タイヤの空気圧をチェックし、走行距離を考慮する。
(担当部署 営業部・工事部)
- ・燃費の良い低公害車を使用し、車に不必要なものは載せない。
(担当部署 営業部・工事部)
- ・最適運航路で最短距離運航路の選択をする
(担当部署 営業部・工事部)

②廃棄物・コピー用紙使用量の削減

- ・分別回収をして、廃プラスチック金属類のリサイクル率を高める。
(担当部署 工事部)
- ・OA用紙等を減らすために、両面コピーや縮小コピー、ミスコピー用紙を裏面コピーやメモ用紙に使用しさらに文書の電子化によるペーパーレス化を進める。
(担当部署 総務部)
- ・エコマーク商品の優先的な購入や再生紙の使用によるグリーン購入を進める。
(担当部署 総務部)

③水使用量の削減

- ・使用後の蛇口がしっとり閉めてあるか、こまめに確認し、水道管からの漏水がないか定期的に点検する。
(担当部署 総務部)
- ・洗車、清掃、手洗い時に節水に努める
(担当部署 工事部)

④教育訓練の実施

- ・毎月の社内会議により全社員に環境活動の周知徹底を図る。
(担当部署 総務部)

⑤化学物質の管理強化

- ・毒物劇物取締法の対象物質を特定し、表示をします。
- ・SDSを取り寄せてPRTR法の対象物質を特定し、数量管理をします。
(担当部署 工事部)

6. 令和6年度の環境経営計画の取り組み結果とその評価

①二酸化炭素排出量の削減

冬の室温22度前後、夏は28度前後の目標は守られていましたが、灯油の使用量は増加した。

電灯やOA機器のスイッチは、昼休みの消灯を徹底し、電力の使用量は目標値内であった。

都市ガスの使用量は少し増加し、ガソリンの使用量も少し増加したが、軽油の使用量は少し減少したが、二酸化炭素の排出量は目標値を達成できなかった。

②廃棄物、コピー用紙使用量の削減

廃棄物は、処理業者に分別して搬入し、公共の埋立場等、施設で処理は行われている。

コピー用紙の削減は目標を達成でき、コピー用紙は、さらにミスコピー用紙の裏面活用、両面印刷、縮小コピー等の徹底を図る。

③水使用量の削減

上水道の目標値は達成でき、水道配管からの定期的な漏水点検を行い漏水を無くす行動は定着している。

④教育訓練の実施

毎月の社内会議で環境活動の周知徹底を図った。

⑤化学物質の管理強化

消毒液、農薬等は鍵つきロッカーで保管し、数量管理台帳に記入している。

環境活動計画	取組	目標値	実績	増減	評価
二酸化炭素の削減		244kg/百万円	262kg/百万円	7.3%増	△
電気使用量	電灯やOAをこまめに切る	9.250Kwh	9.621Kwh	4.0%増	△
灯油使用量	冬室温22度前後、夏室温28度前後	605ℓ	774ℓ	28.6%増	×
都市ガス使用量	温水器温度を上げすぎない、お湯を出す時間をなるべく短く	33.0Nm ³	37.9Nm ³	14.8%増	×
軽油使用料量	急発進等しない、最適最短無運航路を選択	3,218ℓ	3,520ℓ	9.4%増	△
ガソリン使用量	急発進等しない、最適最短無運航路を選択	6,905ℓ	6,967ℓ	0.9%増	○
コピー用紙他	両面コピーや、電子化によるペーパーレス化を進める	139.4kg	185.6kg	33.1%増	×
廃棄物	分別回収をしてリサイクル率を高める				○
水使用量	蛇口をしっかり閉め、漏水がないか点検する	100m ³	167m ³	67.0%増	×
化学物質	毒物取締法、PRTR法の対象物を管理				○

7. 次年度(令和7年度)の取組内容

①二酸化炭素排出量の削減

- ・冬は室温22度前後とし、ストーブで使う灯油も極力節約する。
(担当部署 総務部)
- ・夏は室温を28度前後としクーラー等の消費電力を極力節約する。
(担当部署 総務部)
- ・電灯は消費電力の少ないものに取替え必要のない時はこまめに消す。
特に昼休みは、消灯し、パソコンの電源も消す。
(担当部署 総務部)
- ・OA機器のスイッチをこまめに消し、コピー機は常に余熱にする。
(担当部署 総務部)
- ・温水器の温度を上げすぎない。お湯を出す時間をなるべく短くする。
(担当部署 総務部)
- ・車はアイドリングせず急発進、急加速をせず、スピードを出しすぎない。
タイヤの空気圧をチェックし、走行距離を考慮する。
(担当部署 営業部・工事部)
- ・燃費の良い低公害車を使用し、車に不必要なものは載せない。
(担当部署 営業部・工事部)
- ・最適運航路で最短距離運航路の選択をする
(担当部署 営業部・工事部)

②廃棄物・コピー用紙使用量の削減

- ・分別回収をして、廃プラスチック金属類のリサイクル率を高める。
(担当部署 工事部)
- ・OA用紙等を減らすために、両面コピーや縮小コピー、ミスコピー用紙を裏面コピーやメモ用紙に使用しさらに文書の電子化によるペーパーレス化を進める。
(担当部署 総務部)
- ・エコマーク商品の優先的な購入や再生紙の使用によるグリーン購入を進める。
(担当部署 総務部)

③水使用量の削減

- ・使用後の蛇口がしっとり閉めてあるか、こまめに確認し、水道管からの漏水がないか定期的に点検する。
(担当部署 総務部)
- ・洗車、清掃、手洗い時に節水に努める
(担当部署 工事部)

④教育訓練の実施

- ・毎月の社内会議により全社員に環境活動の周知徹底を図る。
(担当部署 総務部)

⑤化学物質の管理強化

- ・毒物劇物取締法の対象物質を特定し、表示をします。
- ・SDSを取り寄せてPRTR法の対象物質を特定し、数量管理をします。
(担当部署 工事部)

8. 環境関連法規の順守状況及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1) 適用される環境関連法規

廃棄物処理法
家電リサイクル法
自動車リサイクル法
建設リサイクル法
騒音規制法
振動規制法
毒物・劇物取締法
農薬取締法

2) 違反、訴訟の有無

環境法規制一覧及びそれらの順守状況を確認した結果、環境関連法規についての違反及び苦情等はありませんでした。

また、関係機関より違反等の指摘、訴訟等は過去3年間一度もありませんでした。

環境関連法規に関しては自らが定期的に順守状況をチェックし順守していることを確認しています。

9. 代表者による全体の評価と見直し

令和6年度は売上高が前年度より減少し、二酸化炭素排出量は前年とほぼ同量であったが、売上高当たりでの環境経営目標を達成出来ませんでした。令和7年度は特に灯油と軽油の使用量を削減しなければならない。

コピー用紙の使用量は目標値を達成出来なかったが、廃棄物は適正に処分されていた。上水道の使用量は、目標を達成出来ませんでした。今後も継続して二酸化炭素等の排出量の減少に努めることを徹底します。

環境システムは順調に運用されており、引き続き環境保全に貢献できるよう頑張ってください。

見直し実施日

令和7年1月20日

代表取締役 河合 伸介

以上